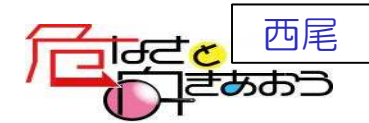


# 西尾モデル



【RA導入背景】 【振り返り】

【対応】

大きな災害防止

- ・危険源記載なし
- ・定常作業のみ扱い  
小エネルギーを対象としている為 見直し要  
ツールはRAシート

👉『危険源』『作業』を重点

◇その関りを全体網羅

◇高エネルギーを特定 👉

危険源シート  
危険源マップ

後世に伝承⇒・主観は伝承せず

あえて全て客観化検討要

👉そこを『マネジメント』そして可視化

👉 +αは作らず/工数をかけず、今ある可視化したものを活用  
“マネジメントしているから発生可能性は低い”とし

◇程度に加え 可能性評価も客観化

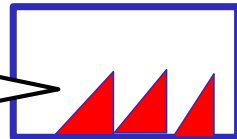
コクネ製作事例

・ルールのみ教育

👉何故？だから！で語り継ぐ

イーラーニング  
VRも有効

懸念 工数ロスに繋がり  
多くの会社は継続困難か  
形だけの実施へ



現在はこのこぎり型



目指すは階段

持続可能

- ・講師が退職しても
- ・OFF-JTの場でも
- ・予習としても
- ・後輩が常に補い続ける

旭鉄工事例

大きな災害防止で危険源から入り 伝承可能な客観的判断にトライし、  
危険源シート マップ イーラーニングで残す